

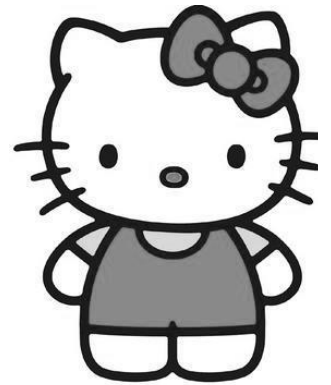
笑ってごらん

第 596 号 H. 29. 9. 20 発行

～今日のことば～

幸運の女神は準備されたところにやってくる。
(パスツール)

◇◆過日 11 日 (月) 1 限目のことになるが、普通科文理コース 1 年生から誘われて『JICA 実体験プログラム発表会』に「参加」した。夏に同プログラムに参加した 4 名が、自分たちが体験してきたことをクラスの皆にも体験してもらおうと企画したもの。私自身、発表会を聴くだけのつもりで武道館へ足を運んだものだったが、いきなり『役割カード』なるものを手渡された。そこには「性別：女、地域：北アメリカ、言語：英語、あいさつの言葉：ハロー」などと書いてある。「何じゃこりゃ??」発表会が始まった。手元のカードの記載事項に沿って指示通りに動いていく流れ。まず男性と女性に分かれ、ほぼ同数であることを確認。次に『あいさつの言葉』を連呼しながら、同じ言葉の人を探してグループを作る。言語別の人口構成がわかる。そして地域ごとに作ったスズランテープの輪の中に入る。ユーラシア地域は入りきれないことから人口密度が非常に高いことがわかる。これまでの学習形態であれば、これら全ての事項が資料に基づいて先生が一方的に文字情報を「伝達」するに過ぎない。ゆえに、試験前とかの「丸暗記」になってしまう。今回は実際に動いてみて理解が深まった。おそらく参加した生徒諸君も同感であろう。楽しく勉強させてもらった。◇◆23 日に行われる『南さつまフェスタ』に向け、総踊りの練習をはじめ着々と準備が進んでいる。今回、私はヘルニア悪化の懸念あるため、残念だが少しだけの参加にとどめることにした(先日 20 分踊っただけで 3 日間苦しんだ…。情けない…)。



感謝道

◇◆大型台風一過。ここ南さつまでは大きな被害には至らず、ホッとした。16 日夜半から 17 日昼過ぎにかけて時折風雨が激しく、家から出られない状況にあったので、仕方なくテレビの画面を観るともなく眺めていた。九州がスッポリと入ってしまうようなデカイ暴風圏の台風がゆっくりと鹿児島へ近づいて来る折、「中心気圧 950hPa で勢力を落とさずに東進する見込み」との情報だったので、「今回は甚大な被害が出るだろうな…、我が家の屋根瓦も再度飛ぶかも…」と案じていたのだった。徐々に接近するにつれ中心気圧にも変化が現れ、上陸前には 975 hPa まで勢力が落ちていたこと、及びスピードも増してきたことが幸いし、長時間暴風にさらされることなく済んだ。夕方強風は残っていたが、晴れ間が出て来たことから外へ出て、家の周囲及び学校の状況を確認した。木々の枝が折れ飛んだりした跡が見受けられたものの、大きな被害は無かったので安堵した。しかし、全国的に見てみると、地域によっては風被害もさることながら、雨被害が大きかったようだ。寮生の自宅周辺では如何だったろうか。大なり小なり被害が出ていることと思う。この場を借りてお見舞い申し上げます次第。◆それにしても便利な世の中になったものである。台風情報に関しては刻一刻と変化する状況を緻密な解析の下、ほぼ毎時間報じてくれる。自然の大きな力の為すことゆえ、台風自体を止めることはできないのであるが、事前の情報によって対策を講じることができるようになったことは私たちにとって大変有り難い。台風が来ると、送電線が切れたりして停電になることが多い。その度ごとに電力会社職員の方々は暴風吹き荒れる中、現場へ急行し、復旧作業に取り組んでくださる(自分の家や家族のことも心配だろうに)。私たちは家の中で電気の復旧を待つだけであるが、そんな中で命の危険にさらされながら働いている人がいることを決して忘れてはならない。その他、役所・消防署・警察署などにも同じ。感謝!